

2008年度 学校評価における自己評価

聖母学院幼稚園

1. 園の教育方針

カトリックの教育精神に基づいて、神から愛されていることを知る子ども、友だちと共に生きる喜びを持つ子供、自主的に行動し責任をよく果たす子ども、創造力豊かに考える子ども、相手の立場を理解し人の幸せを喜べる子どもに育つよう、人格形成の基礎教育に力を注ぐ。

2. 本年度取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを検討する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
建学の精神に則り、カトリック一貫校の幼稚園としての使命に基づいた人間教育を基本としている。	日々の祈り・聖歌、行事による宗教教育を基盤に、豊かな自然の中で生命の尊さを学び、自分を表現する教育につとめている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教師は日々の記録と、報告・連絡・相談を参考にして子どもの実態を把握し、週案・日案の作成に反映させるようにしている。
子どもが園生活を充分楽しみながら、規則正しい生活習慣を定着させる指導を行う。	登園から降園までの一日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	保護者との定期的な懇談の実施や、適宜の話し合い、アンケートにより出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、意見が開示できる環境をつくっている。
幼稚園からの情報を発信することにより、家庭・保護者の信頼と安心を得る。	園だより、クラスだよりにより取組を情報発信するよう取り組んでいく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教師一人一人が学校評価の趣旨を理解し、各自が適切に自己点検、自己評価に取り組むことを継続し、今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねてほしい。

施設面では環境整備に力を入れ、子ども達が安心、安全に過ごせる環境になるように努力しており、概ね目標を達成できた。

5. 今後取り組むべき課題

園教育の特色の継続	内部進学を目標とし、一貫校としての結びつきをしっかりとするため各所属の連携を密にする。 子どもたち一人ひとりが、かけがえのない「ひとり」であるというカトリックの世界観・人間観をもとにして、心身のバランスの良い人格形成のための基礎を築く。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則った、私学の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園の今後の展望を策定する基礎としたい。
特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の検討と、医療・福祉の関係機関との連携を検討する。

幼稚園評価

(本園の教育活動についてのアンケート)

A:あてはまる B:ややそう思う C:ややそう思わない D:あてはまらない

項目	番号	内容	A	B	C	D	記述欄 (具体的にお書きください)
①幼稚園の教育については	1	教育の方針をわかりやすく伝えている。	81	35	8	0	
	2	日々の祈りや聖歌、行事を通しての宗教教育は園の特色ある教育活動として価値がある。	110	15	1	0	
	3	小学校、中高等学校、短期大学との交流は一貫教育の特色として価値がある。	83	33	8	0	
	4	モンテッソーリ教育を基盤とした教育は集中力、秩序感、選択し達成する喜びの習得として価値がある。	92	29	4	0	
	5	自然や草花の美しさ、生き物の命にふれる教育は命の尊さを学ぶ教育活動として価値がある。	113	11	0	0	
	6	自然にふれ、その体験を通して豊かな感情の中で自分を表現する活動は教育活動として価値がある。	109	15	0	0	
	7	毎月の避難訓練の実践により、命を守り助け合うことを学ぶことは教育活動として価値がある。	107	18	0	1	
②先生たちは	8	子どもたちの性格や長所を把握し、個に応じた指導をしている。	85	34	3	1	
	9	子どもの間違っただ行動に対しては、公正で的確な指導をしてくれる。	87	33	4	0	
	10	教育活動の中で、子どもの人権を尊重した姿勢で指導に当たってくれる。	96	28	1	0	
③お子さんは	11	幼稚園に喜んで登園している。	108	17	0	1	
	12	自分の学級が楽しく、友達もいると知っている。	107	18	1	0	
	13	幼稚園で自分らしさを発揮して遊んでいる。	88	32	3	0	

項目	番号	内容	A	B	C	D	記述欄 (具体的にお書きください)
④ 家庭への連絡は	14	子どものことを相談すると適切なアドバイスをしてくれる。	84	38	2	1	
	15	子どもの大きな変化、(ケガやトラブルなど)は先生から保護者に伝えられている。	91	30	4	0	
	16	幼稚園の様子は個人懇談・印刷物(園だより、学年だより、お知らせなど)で良くわかる。	76	45	5	0	
⑤ 幼稚園の行事は	17	行事を通して、幼稚園や保育の様子がよくわかる。	80	38	6	0	
	18	運動会・参観日など、保護者参加の園行事は内容・日程等参加しやすい。	75	39	10	1	
⑥ 緊急時や非常時は	19	台風や地震など、非常時や緊急時の行動の仕方が伝えられている。	87	36	10	0	
	20	不審者の立ち入りなど、危機管理に対して十分な配慮がある。	104	17	4	0	
	21	園庭・保育室などの施設設備は環境安全整備を十分に行っている。	100	25	1	0	
	22	園庭・保育室などの施設・設備を有効に活用している。	98	26	3	0	
⑦ 子育て支援の方法は	23	保護者会活動(マリア会)は活発であり活動への参加は有意義である。	54	56	14	0	
	24	年長組の夏季保育は5歳児の体験として適切である。	78	36	3	2	
	25	預かり保育は子どもたちに安全かつ年齢差を超えた、生活や遊びの体験として有意義である。	67	42	11	5	
	26	預かり保育は保護者の願いに合っている。	66	48	8	5	
	27	未就園児クラスの実施は地域・保護者の願いにあっている。	54	54	8	8	
	28	子育て支援講座は、保護者にとって情報を得る機会として有効である。	57	52	13	3	